



青 鞆 昌 議員
松坂 昌 議員

▼境目の担当者は誰か

Q 九州豪雨災害による漂着ごみの処理では、境界の担当をめぐって時間がかった。役割分担は適切だったのか。

A 現地調査や関係団体から情報収集した結果を踏まえ、庁内で対策を協議し、早急な対応を指示した。しかし、県との補助事業の協議に時間を要したことも事実である。

Q 大手広場の話になると境目の問題で話が止まってしまう。大手広場は島原市のものという意識で動けないのか。

A 市民のための広場だと思っている。

Q 島原城石垣の崩壊は、復興記念館と天守閣駐車場の雨水排水も原因の一つ。縦割りをなくして対応を。

A そのことも含め、今後の対応については連携しながら検討したい。

▼市庁舎問題

Q 合併特例債の期限延長により、二十七年以降の完成も考えられるのか。

A 二十七年以降の完成も考えられる。

▼物品購入入札には、なぜ最低制限価格がないのか

Q 最低制限価格は、事前ランダムではなく、県のように不正がおきにくい事後ランダムにすべきだと思つてどうか。

A 県は電子入札等も実施しており、本市とは取り扱いが違ふと思つている。事前ランダムが不正につながると思つていない。

Q 物品購入にも最低制限価格を設けては。

A 物品にはさまざまなものがあるため、最低制限価格を設けることは難しい。

Q 少額の物品購入には見積書の省略を。

A 他市の状況を踏まえ検討したい。

▼大三東埋め立て造成地にメガソーラーはどうか

Q 塩漬け土地の問題解決のためにメガソーラーを導入してはどうか。

A 一般的には成り立つ事業だが、全ては条件次第だと思ふ。

その他の質問項目

◇教育委員報酬はなぜ日当制ではないのか
◇陳情等に手土産は必要か



如水クラブ 山本 由夫 議員

▼市の事業の進捗状況と今後の取り組みについて

Q 市庁舎建設の進捗状況と今後の予定について説明を求め。

A パブリックコメントを募集し、六月の市長を囲む懇談会で基本構想案の説明を行った。今後は基本構想を策定し、公開型プロポーザルによる基本設計の業務委託を行う予定である。来年度からは基本設計をもとに実施設計の業務委託を行い、仮事務所に移転し現庁舎の解体工事となる。建設工事は約二年間を想定している。

▼雲仙市の電算業務の単独化について

Q 経緯と本市への影響、今後の対応について説明を求め。

A 三市共同の広域圏組合の電算システムは平成元年に導入し、老朽化の問題や電算業務の見直しについて協議してきた。その中で雲仙市から、これまで独自導入してきたシステムも含めて一括更新し、単独化する意向が示された。今後はコストや運用面

▼緩和ケアについて

Q 本市の現状と今後の取り組みは。

A 緩和ケアは、病気のつらさを和らげて患者や家族が安心して治療や療養に専念できるようにサポートする考えだが、一般市民への理解はあまり進んでいない現状である。島原病院では、医療相談室の無料相談や緩和ケアチームによる患者及び家族のサポートを行っている。今後も関係者と連携し研修会や講演会等、周知啓発に努めたい。

▼緑の分権改革について

Q 市長の見解と、本市の取り組みは。

A 緑の分権改革とは地域が持つきれいな水や豊かな資源、それにより生み出される食料やエネルギー、あるいは歴史文化遺産を活用し、地域の自給力と創富力を高め、地域主権型社会への転換を実現するものである。本市でも、新エネルギービジョンの策定や実証実験、慶應大学との連携による地域力向上支援事業など、緑の分権改革の趣旨にかなう形で取り組みを推進している。

その他の質問項目

◇船津地区の高潮対策について
◇温泉給湯事業について